

IV. 担当教員及び主な授業科目

2023年6月1日現在

☎ 03-5978- (下記☎参照)

比較社会文化学専攻 Comparative Studies of Societies and Cultures			
国際日本学領域 Japanese Studies in a Global Perspective			
担当教員 Position Name	授業科目 Main Subject	研究テーマ又は研究分野	
教授 MORIYAMA Shin ☎(5691)	応用言語学研究 Applied Linguistics	【応用言語学】最近注目を浴びつつある認知言語学の知見などを取り入れながら、第二言語としての日本語習得のメカニズムを探り、あわせて教材開発や教授法など日本語教育への応用可能性について考える。 e-mail: moriyama.shin@ocha.ac.jp	
教授 ASADA Toru ☎(5199)	日本中世言語文化論 Japanese Literature and Culture in the Kamakura and Muromachi Periods	【日本中世文学】平安末期から近世初期までの和歌を中心に、社会の中にシステムとして組み込まれた文芸のありかた（『勅撰和歌集』『歌道家』『古今伝授』等）を考察する。その他諸ジャンルにおける秘伝の成立などに興味を持っている。 e-mail: asada.toru@ocha.ac.jp	
教授 MIYAUCHI Takahisa ☎(5797)	日本民俗文化論 Japanese Folk Culture	【日本民俗学、文化人類学】日本の民俗文化、主として建築文化と住生活について関心がある。特に日本における風水の受容について取り組んでいる。また、口頭伝承だけでなく、書籍、出版、読書生活、リテラシーを通して生活文化の中における文字文化の位相についても研究を進めている。 e-mail: miyauchi.takahisa@ocha.ac.jp	
教授 KANDA Yutsuki ☎(5182)	日本近世史研究 Japanese Modern History	【日本近世史】近世の都市や地域社会の構造を、芸能興行など文化的活動の場という視点から捉え直そうとしている。特に、都市や市場に集まる芸能民や商人、遊女、侠客などの集団に関心がある。 e-mail: kanda.yutsuki@ocha.ac.jp	
教授 MIZUMURA Mayumi ☎(5264)	舞踊文化分析論 Cultural Analysis of Dancing	【身体運動科学】舞踊を含む身体運動全般を、生理学およびバイオメカニクスの手法により調査している。トレーニングや練習といったくり返しの運動によって、身体諸機能や動作が変容する可能性に関心をもっている。 e-mail: mizumura.mayumi@ocha.ac.jp	
教授 TANIGUCHI Sachiyo ☎(5206)	日本近代言語文化論 Japanese Modern Literature and Culture	【日本近代文学】近代の日本文学における日本の古美術の受容とその影響を研究している。特に川端康成の文学における古美術の受容とその変容過程に関心がある。 e-mail: taniguchi.sachiyo@ocha.ac.jp	
准教授 MATSUOKA Tomoyuki ☎(5200)	日本中古言語文化論 Japanese Literature and Culture in the Heian Period	【日本中古文学】『源氏物語』をはじめとする物語文学を中心に、中古文学（平安時代の文学）を研究している。言葉相互の関係に着目した作品解説を主眼とし、社会・制度の歴史や仏教思想と文学作品との関係なども追究している。 e-mail: matsuoka.tomoyuki@ocha.ac.jp	
准教授 NISHIKAWA Tomomi ☎(5334)	第二言語習得論 Second Language Acquisition	【第二言語習得】大人・子どもの第二言語習得のメカニズムの解明を目指すとともに、その研究成果の日本語教育への応用を考える。 e-mail: nishikawa.tomomi@ocha.ac.jp	
准教授 TAKEMURA Asuka ☎(5203)	日本語分析論 Analysis of Japanese Language	【日本語史】キリシタン資料や方言資料を用いて、日本語の変遷（主に音韻）について研究している。方言では近畿方言で書かれた上方落語を中心に扱い、語彙・文法に関しても考察している。また、中近世の能楽資料にみえる発音指南の記述にも関心がある。 e-mail: takemura.asuka@ocha.ac.jp	
准教授 MIYASHITA Satoko ☎(5167)	文化思想分析論 Japanese Culture and Thought	【倫理学】倫理と心理と宗教の接点を探るというテーマのもと、人間のあり方について人間の内面と超越的次元との関わりにおいて考察している。主として、ユング、フランクフル、フロム、キューブラー＝ロスといった精神科医、心理学者の思想を研究対象としているが、上記のテーマに関わる思想であれば、洋の東西を問わず、研究対象となり得る。 e-mail: miyashita.satoko@ocha.ac.jp	
准教授 OYABU Umi ☎(5178)	日本中世史研究 Japanese Medieval History	【日本中世史】権力による支配構造の解明に取り組んでいる。朝廷や幕府といった中央権力に限定せず、地域権力も検討の対象とし、中央と地域との繋がりにも注目している。 e-mail: oyabu.umi@ocha.ac.jp	
准教授 ISHII Kumiko ☎(5205)	日本語情報論 Information Theory of Japanese Language	【日本語学】近代から現代の日本語の語彙・表記について研究している。特に、外来語の受容と定着の様相に関心を持っている。 e-mail: ishii.kumiko@ocha.ac.jp	
准教授 UMETADA Misa ☎(5782)	日本伝統芸能論 Traditional Performing Arts	【日本近世・近代演劇】河竹黙阿弥を中心に、幕末明治の歌舞伎及びそれと関係する演劇を研究している。 e-mail: umetada.misa@ocha.ac.jp	
准教授 FUJIKAWA Reman ☎(5202)	日本近世言語文化論 Japanese Literature and Culture in the Edo Period	【日本近世文学】秋里籬島を中心に、近世中後期上方の文学とこれに関わる出版文化について研究している。 e-mail: fujikawa.reman@ocha.ac.jp	
准教授 YUKAWA Fumihiko ☎(5179)	日本近現代史研究 Study of Modern Japanese History	【日本近現代史】日本の近代国家・社会の形成過程について、政治・外交・法制・教育・警察・司法などの観点から多角的に研究している。とくに明治維新の展開構造について中央・地方双方の視点から分析している。 e-mail: yukawa.fumihiko@ocha.ac.jp	
助教 NISHIZAKA Shohei ☎(5213)	日本語教育論 Japanese Language Education	【日本語教育学】第二言語としての日本語の習得と学習について量的かつ質的に分析しながら、日本語教育における指導や支援の在り方を考える。 e-mail: nishizaka.shohei@ocha.ac.jp	
言語文化論領域 Language, Literature, and Culture			
教授 WADA Hidenobu ☎(5217)	中国言語芸術・批評論 Literary Criticism of China	【中国古典文学】中国の詩と詩論について。とくに文学理論の表現形式に着目したアプローチを模索している。 e-mail: wada.hidenobu@ocha.ac.jp	
教授 TOTANI Yoko ☎(5225)	アメリカ言語文化論 American Language and Culture	【現代アメリカ演劇・パフォーマンス研究】現代アメリカ演劇・舞台芸術を対象にパフォーマンス研究の視点から研究。芸術実践および表象のポリティクスと社会との関わりに興味をもち、公共の文化芸術政策や制度との関わりにおいて分析。 e-mail: totani.yoko@ocha.ac.jp	
教授 NOGUCHI Toru ☎(5228)	文法理論 Grammatical Theory	【文法理論】生成文法理論に基づき、統語論、意味論、形態論の諸分野の特性及び各部門間の関係を明らかにする。より具体的には、照応の問題を中心的な研究テーマとしている。 e-mail: noguchi.toru@ocha.ac.jp	
教授 ITO Satomi ☎(5218)	中国語圏言語文化論 Chinese Linguistics	【中国語学】現代中国語の文法を形式言語学の視点から研究している。主なテーマは、疑問詞の照応的用法、形容詞の意味論、選択疑問文の研究など。 e-mail: ito.satomi@ocha.ac.jp	
教授 KOMATSU Sachiko ☎(5239)	仏語圏文化論 Francophone Cultures	【フランス語圏言語文化研究・フランス語教育学】フランス語圏の言語文化をフランス語の言語政策・教育学とあわせて研究している。近年はとくに北米フランス語圏・ベルギーを中心に研究中である。 e-mail: komatsu.sachiko@ocha.ac.jp	
教授 YAMAKOSHI Kyoko ☎(5224)	第一言語習得論 First Language Acquisition	【第一言語習得】生成文法理論に基づき、主に子供の母語習得の仕組みを探る。主なテーマは疑問文、数量詞、受身と使役など。 e-mail: yamakoshi.kyoko@ocha.ac.jp	

(注1) ◎は、2024年度末をもって退職予定であり、○は2025年度末をもって退職予定の教員である。
なお、2023年度末（2024年3月31日付）で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

(注3) GSCは、Global Students Course担当可能教員である。

(注4) *印の教員は、主任指導教員として志望できない。

比較社会文化学専攻 Comparative Studies of Societies and Cultures			
言語文化論領域 Language, Literature, and Culture			
担当	教員	授業科目	研究テーマ又は研究分野
Position	Name	Main Subject	
准教授 Associate Professor	GSC 高桑 晴子 TAKAKUWA Haruko ☎(5227)	イギリス言語文化論 Language and Culture of Britain	【イギリス・アイルランド小説】極めて近代的な文学形態である小説というジャンルを文化的・社会的文脈において分析する。19世紀のイギリスおよびアイルランド小説を主にネイションとジェンダーという文脈で研究中。 e-mail: takakuwa.haruko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	GSC ALLEN David Brian ALLEN David Brian ☎(5229)	第二言語(英語)教育論 Second Language (English) Education Theory	【第二言語習得研究】第二言語の語彙習得における第一言語の影響に関する研究を主とする。第二言語教育とテスト理論に基づいた評価に関する研究。言語テストの波及効果(washback)の研究もおこなっている。 e-mail: allen.david.brian@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	GSC LOWE Robert James LOWE Robert James **	英語教育論 English Education Theory	e-mail: lowe.robert.james@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	田中 琢三 TANAKA Takuzo ☎(5241)	仏語圏言語芸術論 Literary Art in French-speaking Countries	【フランス近代文学】19世紀末から20世紀初頭のフランス文学と政治の関係、特に小説におけるイデオロギーの表象について研究している。 e-mail: tanaka.takuzo@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	前田 佳一 MAEDA Keiichi ☎(5236)	独語圏文化論 Language and Culture of German- speaking Countries	【近現代ドイツ語圏文学】近現代のドイツ語圏文学、特に20世紀オーストリアの文学を中心に研究している。 e-mail: maeda.keiichi@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	橋本 陽介 HASHIMOTO Yosuke ☎(5219)	中国近代文学論 Modern Chinese Literature	【中国文学】現代中国語、日本語を中心とした小説言語の文法、文体論など。 e-mail: hashimoto.yosuke@ocha.ac.jp
比較社会論領域 Comparative Social Studies			
教授 Professor	新井 由紀夫 ARAI Yukio ☎(5177)	西洋中世史研究 Studies of Western Medieval History	【イギリス中世史】14・15世紀の政治社会の在り方。とりわけ土地保有階層であるジェントリの社会的結合関係や、メンタリティー、中世ヨーロッパ古書体学などに関心がある。 e-mail: arai.yukio@ocha.ac.jp
教授 Professor	安成 英樹 YASUNARI Hideki ☎(5181)	西洋近世史研究 Studies of Western Modern History	【フランス近世史】絶対王政期のフランス社会をフィールドとして、前近代ヨーロッパの政治的、社会的、国際的な特質を広く考究する。 e-mail: yasunari.hideki@ocha.ac.jp
教授 Professor	新名 謙二 NIINA Kenji ☎(5268)	比較スポーツマネージメント論 Comparative Sports Management	【比較スポーツマネージメント論】スポーツ施設やスポーツ団体におけるマネージメント課題について、地域的比較あるいは時間的比較という視点からの分析を行う。 e-mail: nina.kenji@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	中野 裕考 NAKANO Hiroataka ☎(5165)	基礎概念論 Analytical Studies of Basic Concepts	【西洋近代哲学】カントを中心に、17・18世紀の西洋哲学において、知覚、認識、自己等の主題に関して、現代哲学の源流を探っている。 e-mail: nakano.hiroataka@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	戸川 貴行 TOGAWA Takayuki ☎(5176)	アジア歴史文化研究 Studies on Asian History and Culture	【東アジア古代史研究】漢唐間の中国を中心として、古代東アジアの政治文化、国際秩序等の展開を新たな視点からとらえ直す。 e-mail: togawa.takayuki@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	阿部 尚史 ABE Naofumi ☎(5184)	イスラム歴史文化研究 Studies on Islamic History and Culture	西アジアでもとくにイランに焦点を当て、近世・近代における家族と女性の関係、ムスリム聖者廟、少数派(アルメニア教徒)、及び文化史などを研究している。 e-mail: abe.naofumi@ocha.ac.jp
(教授) ◎	棚橋 訓	文化構造論 Cultural Structures	担当専攻「ジェンダー学際研究専攻」ジェンダー論領域 比較文化ジェンダー論と同じ。
表象芸術論領域 Arts and Representational Studies			
教授 Professor	天野 知香 AMANO Chika ☎(5170)	西洋美術論 Studies of Western Art History	【西洋美術史】特に十九世紀後半から二十世紀前半にかけてのフランス美術と装飾芸術を中心に、社会における芸術の概念の位相とその変化をとらえながら、作品を取り巻く制度や批評的言説を考察し、個々の作品を分析する。フェミニズム美術史、視覚表象分析理論。 e-mail: amano.chika@ocha.ac.jp
教授 Professor	小坂 圭太 KOSAKA Keita ☎(5278)	器楽演奏論 Instrumental Music	【ピアノ演奏】ピアノという西欧近代特有の思考を体現するような楽器の演奏を通じ、「古典」の概念の検証を行うと同時に、ほとんど西欧化と同義語になっている今日の文化の「グローバル化」について考察する。 e-mail: kosaka.Keita@ocha.ac.jp
教授 Professor	鈴木 禎宏 SUZUKI Sadahiro ☎(5798)	比較文化論 Comparative Study of Culture	【比較文化論】「比較文化論」という方法論を構築する一方で、それをを用いた文化的現象の解明を目指す。 e-mail: suzuki.sadahiro@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	中村 美奈子 NAKAMURA Minako ☎(5269)	民族舞踊論 Ethnic Dances	【民族舞踊学】インドネシア(バリ島)の舞踊を中心に、日本を含むアジア地域の民族舞踊の調査・研究を主な領域としている。理論と実践の両面からのアプローチを行い、舞踊記譜法などの分析手法を用いた舞踊の比較分析に関心を持っている。 e-mail: nakamura.minako@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	新實 五穂 NIIMI Iho ☎(5802)	西洋服飾論 Western Dress Cultures	【西洋服飾史】19世紀フランスを中心に、ひとが服を身に着る意味および服装における社会表象に関して分析し、人間の営為や時代の心性を明らかにすることを旨とする。 e-mail: niimi.iho@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	難波 知子 NAMBA Tomoko ☎(5800)	服飾文化資源論 Costume and Cultural Resources	【日本服飾史】特に明治以降の服飾変遷に着目し、洋服の導入・普及とともに生じた和服の再編成・再解釈など、服飾をめぐる近代的な価値観や生活様式の形成を明らかにする。 e-mail: namba.tomoko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	井上 登喜子 INOUE Tokiko ☎(5281)	音楽表象論 Musicology, Culture and Representation	【音楽学】音楽史・音楽受容研究、とくに作品受容、聴取文化、演奏会とレパートリー形成に関する資料研究、ならびにデータを用いた実証的検証を行っている。音楽活動とジェンダーの問題にも関心をもつ。 e-mail: inoue.tokiko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	土谷 真紀 TSUCHIYA Maki ☎(5169)	比較芸術論 Comparative Study of Art	【日本美術史】日本中世の物語絵画における生成と享受を巡る諸問題について研究している。特に、中世後期から末期にかけての物語絵画について、イメージ分析を主としつつ、歴史や文学、仏教思想との関係などからの検討も行っている。 e-mail: tsuchiya.maki@ocha.ac.jp
助教 Assistant Professor	福本 まあや FUKUMOTO Maaya ☎(5265)	舞踊表現論 Theory of Dance Expression	【舞踊表現論】舞踊の教育的意義、社会的意義に関する既存の研究に整理・再検討を加え、そこから新たな研究課題と研究方法を創出し、人間と舞踊の関わりを複眼的に考察する。 e-mail: fukumoto.maaya@ocha.ac.jp
助教 Assistant Professor	岡 千春 OKA Chiharu ☎(5756)	臨床舞踊論 Theory of Clinical Dance	【臨床舞踊学】舞踊と社会がつながる場を対象とし、そこでの舞踊の意義および課題について、具体的な事例の質的調査を通して、多角的に考察することを目指す。 e-mail: oka.chiharu@ocha.ac.jp
助教 Assistant Professor	浅井 佑太 ASAI Yuta ☎(5275)	音楽文化論 Cultural Musicology	【音楽学】とりわけ二十世紀以降の作曲家の創作プロセスの研究を行っている。作曲的思考法・音楽語法と創作プロセスの関係性をスケッチ・自筆譜資料をもとに実証的に検証することを目指す。 e-mail: asai.yuta@ocha.ac.jp

- (注1) ◎は、2024年度末をもって退職予定の教員である。
なお、2023年度末(2024年3月31日付)で定年退職予定の教員は記載されていない。
(注2) ※は、領域代表である。
(注3) GSCは、Global Students Course担当可能教員である。
(注4) **印の教員は、主任指導教員として志望できない。
(注5) () は、他専攻の兼任教員であり、本専攻では主任指導教員にはならない。

人間発達科学専攻 Human Developmental Sciences			
教育科学領域 Educational Sciences			
担当 Position	教員 Name	授業科目 Main Subject	研究テーマ又は研究分野
教授 Professor ※	池田 全之 IKEDA Takeyuki (5243)	比較教育思想史論 Philosophy of Education	【教育哲学】18世紀以降のドイツにおける人間形成論、とりわけ、ドイツ観念論や実在哲学やフランクフルト学派の思想を中心に、近代社会と理性の運命、そこから派生する人間的自由の成立条件や美の救済機能の検討を進めている。 e-mail: ikeda.takeyuki@ocha.ac.jp
教授 Professor	浜野 隆 HAMANO Takashi (5248)	国際教育開発論 International Development and Education	【国際教育開発・協力】アジア・アフリカを中心とした発展途上国における教育の現状、国際機関の役割、国際協力のあり方などを具体的に検討している。研究の成果を実際の国際協力の実践に活用できるよう、現場との連携を常に念頭においている。 e-mail: hamano.takashi@ocha.ac.jp
教授 Professor	富士原 紀絵 FUJIWARA Kie (5472)	カリキュラム論 Curriculum Studies	【カリキュラム論・教育方法学】近現代日本の学校教育において、公的な教育内容・方法の組織された教育課程と、個々の学校レベルあるいは日々の事業の実践として展開されている教育実践、カリキュラムとの関係について研究を行っている。 e-mail: fujiwara.kie@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor **	大多和 直樹 OTAWA Naoki (5245)	教育社会学論 Sociology of Education	【教育社会学】学校社会学、中等教育研究(おもに生徒文化論)、メディアと教育、高等教育論(おもに学生文化)などのテーマで実証的研究を行っている。 e-mail: owata.naoki@ocha.ac.jp
心理学領域 Psychology			
教授 Professor	坂元 章 SAKAMOTO Akira (5257)	メディア心理学 Media Psychology	【社会心理学】テレビ、デジタルゲーム、インターネット、スマートフォンなどの電子メディアによって人間の行動や発達にどのような影響があるか、悪影響を避けながらそれらを十分に活用するためにはどのように介入すればよいか。 e-mail: sakamoto.akira@ocha.ac.jp
教授 Professor	大森 美香 OMORI Mika (2561)	健康行動論 Research in Health Behavior	【健康心理学・臨床心理学】心身の健康と心理社会的要因の関連に関する研究を主としている。特に青年期以降の(1)ヘルスリスク行動、健康促進行動、食行動、(2)感情、認知、ストレス、ストレスマネジメントの方法、に関わる問題を扱っている。 e-mail: omori.mika@ocha.ac.jp
教授 Professor	上原 泉 UEHARA Izumi (5259)	発達心理学先端研究 Advanced Studies in Developmental Psychology	【発達心理学】認知発達(言語、記憶、実行機能、感情、遊び、退屈等)、自伝的記憶・ナラティブの生涯発達に関する研究を行っている。皆に共通する発達過程と環境や文化の影響を受けやすい発達過程に関心をもつ。 e-mail: uehara.izumi@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	伊藤 大幸 ITO Hiroyuki (5771)	教育心理学研究 Educational Psychology Research	【発達心理学・教育心理学・心理計量学】広く人の認知・感情の仕組みやその発達過程、またその研究や解析の方法論に関心を持つ。研究テーマは、①子どもの心の健康やコンピテンスの発達、②発達障害や各種心理特性のアセスメント、③縦断研究のための多変量解析手法など。臨床・教育実践や政策形成をバックアップするエビデンスの創出を志向している。 e-mail: ito.hiroyuki@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor ※	今泉 修 IMAIZUMI Shu (5534)	認知科学論 Cognitive Science	【認知心理学】人間の認知に関する行動実験を用いた研究が専門である。身体と認知の相互作用、自己意識や時間知覚や感情や記憶といった認知機能、およびそれらの個人差について検討している。 e-mail: imaizumi.shu@ocha.ac.jp
発達臨床心理学領域 Developmental and Clinical Psychology			
教授 Professor ※	石丸 径一郎 ISHIMARU Keiichiro (5187)	青少年臨床論 Clinical Approach to Adolescence	【臨床心理学】LGBTQとのかみについて心理学的に検討している。特に、性別違和の測定、職場や学校での支援、認知行動療法の実用など。 e-mail: ishmaru.keiichiro@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	山田 美穂 YAMADA Miho (5784)	障害臨床論 Developmental Disabilities	【臨床心理学】臨床実践・教育・研究における、身体を通じた共感の活用について研究している。特にフォーカシングやダンス/ムーブメントセラピーの技法を用いたアセスメントおよび介入を研究テーマとしている。 e-mail: yamada.miho@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	高橋 哲 TAKAHASHI Masaru (5772)	非行臨床論 Juvenile Delinquency and Clinical Psychology	【犯罪心理学】非行少年や犯罪者に対する心理学的な査定と介入について研究している。特に、①再犯リスクアセスメント、②トラウマと嗜癖的行動、③自傷と他害に関心がある。 e-mail: takahashi.masaru@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	平野 真理 HIRANO Mari (5780)	心理療法論 Systems of psychotherapy	【臨床心理学、パーソナリティ心理学】個人のもつレジリエンス(回復・適応力)を包括的に理解し、その人らしい力を発揮してけるためのアセスメント、関係を通じた心理支援、ICTを活用した予防的実践などに取り組んでいる。 e-mail: hirano.mari@ocha.ac.jp
助教 Assistant Professor **	砂川 芽吹 SUNAGAWA Mebuki (5266)	コミュニティ心理学特論 Community Psychology	【障害児・者臨床心理学】発達障害のある子ども・人の臨床心理学的支援について研究している。特に、発達障害のある女の子・女性ならではの経験理解と支援に関心を持って取り組んでいる。 e-mail: sunagawa.mebuki@ocha.ac.jp
社会学・社会政策領域 Sociology and Social Policies			
教授 Professor	小谷 眞男 KOTANI Masao (5787)	比較社会学論 Comparative Studies on Society and Law	【比較社会学】<生活>の比較社会学史・比較法文化史及びトランス・サイエンス論研究。特にイタリアを専門的フィールドとする。 e-mail: kotani.masao@ocha.ac.jp
教授 Professor	大森 正博 OMORI Masahiro (5987)	生活者環境論 Social Science in Human Environments	【公共経済学・医療経済学】医療・介護制度を資源配分、所得分配の観点から分析し、望ましい医療・介護制度のあり方を考える。医療・介護制度の国際比較も行う。 e-mail: omori.masahiro@ocha.ac.jp
教授 Professor ※	杉野 勇 SUGINO Isamu (5171)	社会科学方法論 Social Science Methodology	【理論社会学・社会調査論】紛争や階層についての理論的考察と実証的調査研究、社会科学方法論や社会調査法研究。 e-mail: sugino.isamu@ocha.ac.jp
教授 Professor	西村 純子 NISHIMURA Junko (5788)	家族変容論 Family Sociology	【家族社会学】家族関係の変容とそのダイナミクスに関する実証的研究。特に、仕事と家族生活、子育てに関わる現象についての社会学的研究をおこなっている。 e-mail: nishimura.junko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor **	宝月 理恵 HOGETSU Rie (5172)	社会コミュニケーション論 Social Communication	【医療社会学・歴史社会学】社会的存在としての人々がどのように健康や病を経験したのか、医学、身体、家族、教育、専門職、ジェンダー等の視点から歴史社会学的研究を行っている。 e-mail: hogetsu.rie@ocha.ac.jp
保育・児童学領域 Child Studies			
教授 Professor ※	小玉 亮子 KODAMA Ryoko (5342)	教育文化論 Cultural Studies in Education	【比較教育文化論】次世代育成に関わる文化の総体を教育文化ととらえ、幼児教育と家庭教育を中心とした比較教育文化/社会史・子ども社会学的研究を行っている。 e-mail: kodama.ryoko@ocha.ac.jp
教授 Professor	刑部 育子 GYOBU Ikuko (5527)	幼児教育論 Early Childhood Education	【幼児教育学・発達心理学】保育・教育実践の現場に関心を持ち、学習論・発達論の観点から保育・教育に関する実践的研究を行っている。 e-mail: gyobu.ikuko@ocha.ac.jp
講師 Lecturer	松島 のり子 MATSUSHIMA Noriko (5253)	保育史論 History of Early Childhood Education and Care	【保育制度・政策史】保育・幼児教育に関する制度・政策の変遷や形成過程、全国的な動向と地域における実態を対象として、歴史研究を行っている。 e-mail: matsushima.noriko@ocha.ac.jp

(注1) ○は2025年度末をもって退職予定の教員である。
なお、2023年度末(2024年3月31日付)で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

(注3) **印の教員は、主任指導教員として志望できない。

ジェンダー学際研究専攻 Interdisciplinary Gender Studies		ジェンダー学領域 Interdisciplinary Gender Studies	
担当教員 Position	Name	授業科目 Main Subject	研究テーマ又は研究分野
教授 Professor ◎	GSC 永瀬 伸子 NAGASE Nobuko ☎(5786)	労働論 Labor Economics	【労働経済学】就業行動、家庭内生産活動など、仕事をめぐる選択行動を経済理論を用いて分析の枠組みをつくり、先験的な予想を立て、統計等を用い実証的に分析することを専門とする。主な領域は「仕事」の選択行動であるが、出産、教育、結婚等の選択もこの枠組みで扱うこともできる。質的研究も行う。 e-mail: nagase.nobuko@ocha.ac.jp
教授 Professor ◎	GSC 棚橋 訓 TANAHASHI Satoshi ☎(5251)	比較文化ジェンダー論 Comparative Studies on Culture and Gender	【文化人類学、ジェンダー文化論】文化人類学の視点から、近現代の異文化混淆の過程に生じるジェンダー秩序の再編に関する研究、社会変動とセクシュアリティ変容に関する研究、「第三のジェンダー」に関する研究を行っている。主なフィールドはオセアニアと日本。 e-mail: tanahashi.satoshi@ocha.ac.jp
教授 Professor ○	GSC 小林 誠 KOBAYASHI Makoto ☎(5254)	世界政治論 World Politics	【国際政治学、国際関係学】グローバル化による国際システムの変容を理論的・実証的に研究。特に、非国家アクターが台頭し、地球市民社会が形成され始めて、中央・周辺関係が変化する一方で、新たな暴力の形態が生まれていることに注目。 e-mail: kobayashi.makoto@ocha.ac.jp
教授 Professor	GSC 申 琪榮 SHIN Ki-young ☎(5843)	比較政治論 Comparative Politics	【ジェンダーと政治、日韓比較政治、フェミニズム理論】女性運動の日韓比較、ジェンダー・クォーター、ジェンダー主流化政策、Transnational Feminismなど、ジェンダー・フェミニズムの視点から比較政治学の問いに取り組み。 e-mail: shin.kiyoung@ocha.ac.jp
教授 Professor	齋藤 悦子 SAITO Etsuko ☎(5986)	生活経済論特論 Household Economics	【生活経済学、生活経営学】家計、生活時間をジェンダーの視点から分析する。特に雇用労働者世帯を扱い、企業と生活者の関係性に注目している。現在は、生活者が「企業の社会的責任」に関係していくかを検討している。 e-mail: saito.etsuko@ocha.ac.jp
教授 Professor	宮澤 仁 MIYAZAWA Hitoshi ☎(5195)	福祉地理学 Welfare Geography	【都市地理学、福祉地理学、地理情報システム (GIS)】人口減少・少子高齢化に伴う都市・地域の問題を地理情報システムと地域分析手法を用いて分析し、生活・福祉の視点から課題解決に取り組む。 e-mail: miyazawa.hitoshi@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	荒木 美奈子 ARAKI Minako ☎(5190)	国際協力論特論 International Cooperation	【開発研究、アフリカ地域研究】研究関心は、地域研究に基づく開発実践・研究、内発的發展、参加型開発、グローバル化による地域社会の変容などである。タンザニアを主なフィールドとしている。 e-mail: araki.minako@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	長谷川 直子 HASEGAWA Naoko ☎(5196)	環境地理学 Environmental Geography	【自然地理学・陸水学】気候変動（とくに温暖化）が湖に与える影響の解明。湖へ流入する水の挙動を観測により解明する。環境問題や地理的視点の一般社会への普及の検討。 e-mail: hasegawa.naoko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	GSC デ アウカンタラ マルセロ DE ALCANTARA Marcelo ☎(2084)	比較家族法論 Comparative Family Law	【家族法・比較法】親子法について、特に生殖補助医療に関連して生じた諸問題に関する研究を行っている。日本の家族法と諸外国の家族法との比較研究も行っている。家族法と国際化、家族法とジェンダーの問題にも関心がある。 e-mail: marcelo.de.alcantara@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor ※	GSC 大橋 史恵 OHASHI Fumie ☎(5341)	ジェンダー政治経済学 Gender and Political Economy	移住家事・ケア労働者の就労や生存をめぐる諸課題や彼女たちの社会運動について、主に中国・香港・台湾・日本でフィールドワークをおこないつながりながら研究を進めている。またポスト冷戦期東アジアのジェンダー秩序や、そのなかで生じるトランスナショナルなフェミニズム運動にも関心をもっている。 e-mail: ohashi.fumie@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	倉光 ミナ子 KURAMITSU Minako ☎(2612)	地域研究論 Area Studies Methodology	【文化地理学、オセアニア地域研究】最近の研究関心は、オセアニア地域研究、特にグローバル化によるジェンダーと慣習への影響、移民女性の子育てなど。主なフィールドはサモアとニュージーランド。 e-mail: kuramitsu.minako@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor **	豊福 実紀 TOYOFUKU Miki ☎(5791)	公共政策論 Public Policy	【日本政治・比較政治・公共政策】政治学の観点から公共政策の研究を行っており、とくに女性の働き方にかかわる租税政策に注目している。 e-mail: toyofuku.miki@ocha.ac.jp
(教授 ○)	小玉 亮子	ジェンダー理論文化学 Cultural Studies and Gender Theory	【ジェンダー理論・ジェンダー史・比較文化/社会史】近現代思想をジェンダーの視点から再検討すると同時に、歴史の中で、ジェンダーがどのように構築されてきたかを検討している。
(教授)	小谷 眞男	法文化論 Legal Culture	【比較法史】＜生活＞の比較法社会史・比較法文化史及びトランス・サイエンス論研究。特にイタリアを専門的フィールドとする。
(教授)	大森 正博	医療政策論 Health Policy	【医療経済学、医療・介護制度の国際比較】医療・介護サービス産業・制度を、経済学の視点から分析を行う。医療・介護サービス産業・制度の国際比較も行う。
(教授)	西村 純子	家族論 Family Studies	【家族社会学】家族関係の変容とそのダイナミクスに関する実証的研究。特に、仕事と家族生活、子育てに関わる現象についての社会学的研究をおこなっている。

(注1) ◎は、2024年度末をもって退職予定であり、○は2025年度末をもって退職予定の教員である。

なお、2023年度末（2024年3月31日付）で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

(注3) GSCIは、Global Students Course担当可能教員である。

(注4) **印の教員は、主任指導教員として志望できない。

(注5) () は、他専攻の兼任教員であり、本専攻では主任指導教員にはならない。

ライフサイエンス専攻 Life Sciences			
生命科学領域 Biological Sciences			
担当教員 Position Name	授業科目 Main Subject	研究テーマ又は研究分野	
教授 GSC Professor 千葉 和義 CHIBA Kazuyoshi ☎(5370)	細胞・発生生物学 Advanced Cell and Developmental Biology	【細胞・発生生物学】減数分裂や受精、初期発生過程において、細胞内外の情報がいかに伝達され、発生が制御されているのかについて研究している。 e-mail: chiba.kazuyoshi@ocha.ac.jp	
教授 GSC Professor 由良 敬 YURA Kei ☎(5514)	計算構造生物学 Computational Structural Biology	【生命情報学】ゲノム塩基配列、タンパク質立体構造座標、タンパク質などの相互作用情報が膨大に収集されるようになった。これらの情報を利用して、コオロギなどの昆虫がいかに進化してきたのかを、計算生物学的に明らかにしていくことを目指す。 e-mail: yura.kei@ocha.ac.jp	
教授 GSC Professor 加藤 美砂子 KATO Misako ☎(5293)	植物分子生理学 Plant Molecular Physiology	【植物分子生理学】植物に特有の代謝系に焦点をあて、その調節機構を遺伝子発現のレベルから解析している。特に植物の二次代謝系や脂質合成系を制御する分子機構に着目して研究を進めている。 e-mail: kato.misako@ocha.ac.jp	
教授 GSC Professor 服田 昌之 HATTA Masayuki ☎(5579)	生物圏科学 Biosphere Science	【進化生態遺伝学】海洋動物の進化史を遺伝・生態の側面から明らかにする。サンゴ礁生物の多様性やサンゴ礁修復技術についても研究している。 e-mail: hatta.masayuki@ocha.ac.jp	
教授 GSC Professor 嶋田 智 SHIMADA Satoshi ☎(5356)	構造植物科学 Structure of Plant Sciences	【多様性生物学】どの様な生物種がいかに地球上に存在しているのか?そもそも、どうやって生物は多様化してきたのか?という生物多様性に関する素朴な疑問を明らかにしたいと考えている。 e-mail: shimada.satoshi@ocha.ac.jp	
教授 Professor 清本 正人 KIYOMOTO Masato ☎0470-29-0838	発生機構学 Developmental Mechanics	【発生生物学】棘皮動物を材料に、初期発生における細胞の分化や形態形成のメカニズムを明らかにする。具体的には、ウニ胚の骨片形成細胞の分化における誘導因子や細胞間の相互作用について、培養系を使って研究している。 e-mail: kiyomoto.masato@ocha.ac.jp	
教授 GSC Professor 宮本 泰則 MIYAMOTO Yasunori ☎(5363)	分子細胞生物学 Molecular Cell Biology	【分子細胞生物学】脳の形態形成や損傷修復過程を神経細胞やグリア細胞に着目して分子細胞生物学的に解析を進めている。特に細胞外マトリックスや生理活性脂質の作用について解明する。 e-mail: miyamoto.yasunori@ocha.ac.jp	
教授 GSC Professor 植村 知博 UEMURA Tomohiro ☎(5713)	植物オルガネラ動態学 Plant organelle dynamics	【細胞膜機能学】真核細胞のオルガネラの膜ダイナミクスと生理機能を明らかにする。ライブイメージングによる観察によって研究を進める。 e-mail: uemura.tomohiro@ocha.ac.jp	
准教授 GSC Associate Professor 近藤 るみ KONDO Rumi ☎(5372)	進化多様性 Evolution and Diversity	【ゲノム進化・進化遺伝学】生態や行動の多様性が生じるしくみを分子レベルで理解することを目的として、ショウジョウバエをモデル生物に用いて研究している。 e-mail: kondo.rumi@ocha.ac.jp	
准教授 GSC Associate Professor 佐藤 敦子 SATO Atsuko ☎(5377)	先端動物学 Frontier Zoological Approach in Life Science	【発生進化学】生物の発生が環境にどう変化してどう進化するのか。大量データ解析と発生進化学的手法を用いて解明する。 e-mail: sato.atsuko@ocha.ac.jp	
講師 ** Lecturer 岩崎 貴也 IWASAKI Takaya ☎(2604)	植物進化多様性科学 Plant Diversity and Evolution	【植物進化多様性科学】野生植物の多様性を形成した進化史、そして現在の多様性を維持している生態メカニズムの解明を目的として、様々な野生植物を用いた研究を進めている。特に生物の分布に着目した生物地理学をベースに研究を展開している。 e-mail: iwasaki.takaya@ocha.ac.jp	
助教 GSC Assistant Professor MONAI ヒロム MONAI Hiromu ☎(5303)	生体応答ダイナミクス Dynamics in Biological Responses	【生体組織機能学】脳が生きているとはどういうことか?生きた脳組織が機能する基礎原理について、非シナプスの相互作用の観点から解明を試みている。 e-mail: monai.hiromu@ocha.ac.jp	
客員教授 Visiting Professor 田中 啓二 TANAKA Keiji (東京都医学総合研究所)	生体防御システム Biophylaxis System	細胞内サイクル装置であるプロテアソームやオートファジーについて分子から細胞レベルまで多面的に解析し、神経細胞の恒常性を維持する機構について研究している。 e-mail: tanaka-k@igakuken.or.jp	
客員教授 Visiting Professor 正井 久雄 MASAI Hisao (東京都医学総合研究所)		【分子生物学】ゲノム複製の分子メカニズムの解明を基盤に、ゲノムの継承、安定性維持のメカニズム、その破綻によるがん細胞の形成などについて研究している。ゲノムの新しい機能シグナルとしての、グアニン4重鎖構造など、非標準型DNA構造の生物学的意義の解明も目指している。 e-mail: masai-hs@igakuken.or.jp	
客員教授 Visiting Professor 小野 弥子 ONO Yasuko (東京都医学総合研究所)	シグナル伝達機構 Biological Signaling Mechanism	細胞内の調節的タンパク質切断酵素「カルパイン」の生理機能と構造機能相関について研究している。 e-mail: ono-ys@igakuken.or.jp	
客員教授 Visiting Professor Martin Frith (国立研究開発法人 産業技術総合研究所)	ゲノム情報学 Genome Informatics	【ゲノム情報学】コンピューターを利用した統計モデルにもとづき、比較ゲノミクスの手法を用いて、ゲノム塩基配列から機能および進化に関する情報を読み解く研究を進めている。 e-mail: m.frith@aist.go.jp	
客員准教授 Visiting Associate Professor 宮岡 佑一郎 MIYAOKA Yuichiro (東京都医学総合研究所)		ヒトiPS細胞の遺伝情報をゲノム編集により換えることで、遺伝性疾患の発症機序解明と治療法開発を目指す。 e-mail: miyaoka-yi@igakuken.or.jp	
客員准教授 Visiting Associate Professor 丸山 千秋 MARUYAMA Chiaki (東京都医学総合研究所)		【神経発生学】脳神経回路が胎児期にどのように発生するのか、また哺乳類と非哺乳類での脳構造の違いやその進化のメカニズムについて、分子発生的、比較進化的観点から研究している。 e-mail: maruyama-ck@igakuken.or.jp	
(教授) 相川 京子	生体分子科学 The Structure and Function of Biomolecules	担当専攻「理学専攻」 化学・生物化学領域 糖鎖生物化学と同じ	

(注1) ○は2025年度末をもって退職予定の教員である。
なお、2023年度末(2024年3月31日付)で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

(注3) GSCは、Global Students Course担当可能教員である。

(注4) *印の教員は、主任指導教員として志望できない。

(注5) () は、他専攻の兼任教員であり、本専攻では主任指導教員にはならない。

ライフサイエンス専攻 Life Sciences		食品栄養科学領域 Food and Nutritional Sciences	
担当	教員	授業科目	研究テーマ又は研究分野
Position	Name	Main Subject	
教授 Professor	GSC 森光 康次郎 MORIMITSU Yasujiro ☎(5757)	食品生理機能学 Food Functionality	【食品機能化学】近年、食品起源の生体調節機能性因子が注目され、その重要性が広く一般にも認識されるようになった。身近となった抗酸化物質から生活習慣病予防効果を示しうる食用植物由来の生理活性物質について、有機化学的・生化学的研究を中心に行っている。 e-mail: morimitsu.yasujiro@ocha.ac.jp
教授 Professor	GSC 赤松 利恵 AKAMATSU Rie ☎(5680)	食行動学 Eating Behavior	【栄養教育学】人の食行動に関わる要因について、心理社会的観点から検討し、よりよい生活習慣を獲得するための方法を研究している。 e-mail: akamatsu.rie@ocha.ac.jp
教授 Professor	GSC 飯田 薫子 IIDA Kaoruko ※☎(5474)	栄養臨床医学・疫学 Lecture on Clinical Nutrition	【栄養代謝学、生活習慣病学】生体内における糖や脂質の代謝機構を中心に、生活習慣病との関連性から研究を行っている。 e-mail: iida.kaoruko@ocha.ac.jp
教授 Professor	須藤 紀子 SUDO Noriko ☎(5448)	国際公衆栄養学 International Public Health Nutrition	【公衆栄養学】国内外の非常時の食生活支援のための体制整備に関する研究を行っている。 e-mail: sudo.noriko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	GSC 市 育代 ICHI Ikuyo ☎(5750)	臨床栄養学 Clinical Nutrition	【臨床栄養学】脂質の代謝異常は生活習慣など様々な疾患の発症に関わっている。病態における脂質の変動と疾病との関連について研究を行っている。 e-mail: ichi.ikuyo@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	新田 陽子 NITTA Yoko ☎(5760)	嗜好性設計学 Advanced Cookery Science	【調理科学、食品物性学、酵素学】食品物性や生理活性アミンについての研究を行なっている。 e-mail: nitta.yoko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	清水 誠 SHIMIZU Makoto ☎(5752)	応用栄養学 Applied Nutrition	【分子栄養学】運動や老化、栄養などに関わる生体内分子や機能性食品成分に着目し、これらの機能や相互作用に関する研究を行っている。 e-mail: shimizu.makoto@ocha.ac.jp
講師 Lecturer	GSC 佐藤 瑠子 SATO Yoko **☎(5754)	給食品質管理論 Quality control of food service	【給食経営管理論】給食を生産する際の調理・保管過程における食品の物理的・化学的な変化を把握し、品質管理手法を提案するための研究を行なっている。 e-mail: sato.yoko@ocha.ac.jp
講師 Lecturer	GSC 小林 正樹 KOBAYASHI Masaki **☎(5943)	栄養制御学 Nutritional Regulation	【基礎栄養学】栄養環境や加齢・老化が身体に及ぼす影響に関して、主に動物や細胞を用いた研究を行っている。 e-mail: kobayashi.masaki2@ocha.ac.jp
客員教授 Visiting Professor	(未定)	食品安全管理学 Food Safety	【食品安全管理学】カビ毒を含めた食品の安全管理に関する研究。 e-mail:
客員准教授 Visiting Associate Professor	(未定)	食品バイオテクノロジー Food Biotechnology	【食品バイオテクノロジー】食品の技術開発（衛生管理、リスク検出・低減、加工技術等）に関する研究を行っている。 e-mail:
遺伝カウンセリング領域 Genetic Counseling			
教授 Professor	三宅 秀彦 MIYAKE Hidehiko ※☎(5587)	遺伝カウンセリング論 Guide to Genetic Counseling	【臨床遺伝医学、遺伝カウンセリング学】出生前診断を中心とした遺伝に関わる問題に対して、遺伝カウンセリングや教育、社会啓発に関する研究を行っている。 e-mail: miyake.hidehiko@ocha.ac.jp
講師 Lecturer	佐々木 元子 SASAKI Motoko **☎(5742)	ゲノム遺伝学 Genetics and Genomics	【遺伝カウンセリング学、遺伝教育】遺伝カウンセリング全般に対する問題と、遺伝教育や社会啓発に関する研究を行っている。 e-mail: sasaki.motoko@ocha.ac.jp

(注1) ※は、領域代表である。

(注2) GSCは、Global Students Course担当可能教員である。

(注3) **印の教員は、主任指導教員として志望できない。

理学専攻 Advanced Sciences			
数学領域 Mathematics			
担当教員 Position Name	授業科目 Main Subject	研究テーマ又は研究分野	
教授 Professor 横川 光司 YOKOGAWA Koji ☎(5357)	ホモトピー数学 Homotopical Mathematics	従来の等号をベースにした数学から同値をベースとしたものへ移行したものがホモトピー数学である。ホモトピー数学により、これまで見えていなかった数学構造が捉えられる。研究テーマはこのホモトピー数学の論理的基礎づけとその幾何学への応用である。 e-mail: yokogawa.koji@ocha.ac.jp	
教授 Professor 下川 航也 SHIMOKAWA Koya ☎(5310)	位相幾何学 Topology	【トポロジーとその応用】結び目理論と3次元多様体論は活発に研究が行われているトポロジーの分野である。それらの研究と、高分子科学、超分子化学、材料科学への応用の研究を行っている。 e-mail: shimokawa.koya@ocha.ac.jp	
教授 Professor 萩田 真理子 HAGITA Mariko ☎(2712)	組み合わせ構造論 Combinatorial Structure	【離散数学】M系列、差集合、ブロックデザイン、符号などの離散構造の存在性についての理論研究と、グラフ彩色、疑似乱数、暗号など情報セキュリティのための離散数学の応用研究を行っている。 e-mail: hagita.mariko@ocha.ac.jp	
教授 Professor 竹村 剛一 TAKEMURA Kouichi ☎(5298)	数理解析論 Mathematical Analysis	【可積分系、特殊関数】可積分系と関係する複素変数の微分方程式や差分方程式の研究を行い、特定の系に対する理解の深化などの応用を目指す。関連して、楕円関数や超幾何関数に代表される特殊関数自体の研究も行う。 e-mail: takemura.kouichi@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor 戸田 正人 TODA Masahito ☎(5305)	大域幾何構造論 Global geometry	位相構造など空間の大域的性質を距離構造や複素構造などの空間上の幾何構造との関連から研究する。多様体などの位相構造の分類を行うことを目的として、幾何構造上で展開される解析学を援用して、空間に生ずる特異性の解析を行う。 e-mail: toda.masahito@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor 久保 隆徹 KUBO Takayuki ☎(5300)	関数解析論 Functional Analysis	流体力学などに現れる現象を記述する様々な偏微分方程式に関する数学解析を行っている。フーリエ解析や、関数解析的・数値解析的な手法で現象の数学的理解を目指す。 e-mail: kubo.takayuki@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor 千葉 優作 TIBA Yusaku ☎(5311)	大域解析学 Global Analysis	一変数正則関数とは異なり、多変数正則関数はハルトクス現象といった特有の性質をもつ。このような興味深い性質を、シュタイン多様体やコンパクトケーラー多様体などの幾何学的な視点から研究する。 e-mail: chiba.yusaku@ocha.ac.jp	
講師 Lecturer 植木 潤 UEKI Jun ☎(5309)	数論多様体構造論 Mathematical Theory of Manifolds	【数論的位相幾何学】素数と結び目、代数体の整数環と3次元多様体の類似性に端を発する様々な研究を行っている。 e-mail: ueki.jun@ocha.ac.jp	
物理科学領域 Physics			
担当教員 Position Name	授業科目 Main Subject	研究テーマ又は研究分野	
教授 Professor 小林 功佳 KOBAYASHI Katsuyoshi ☎(5314)	ナノスケール物理 Nano-Scale Physics	【メソからナノスケールの物理、表面物理】最近の微細加工技術や走査プローブ顕微鏡等の進歩により、原子やナノスケールでの物性測定や人工構造物の作成が可能になった。このスケールに特有の新たな物理現象を探る目的で理論的な立場から研究を行っている。 e-mail: kobayashi.katsuyoshi@ocha.ac.jp	
教授 Professor GSC 出口 哲生 DEGUCHI Tetsuo ☎(5322)	非線形現象解析 Analysis of Nonlinear Phenomena	【数理論理学・物性基礎論】非線形性は多様な自然現象の中で重要な役割を果たす。非線形性のために系は単なる部分の和でない、全体として特有の性質を示す。ソリトンの逆散乱法やペーテ仮説法などの数理物理学の手法を用いて、水面の波動、量子スピン系の厳密解、結び目と物理、高分子など幅広いテーマを総合的に研究する。 e-mail: deguchi.tetsuo@ocha.ac.jp	
教授 Professor 奥村 剛 OKUMURA Ko ☎(5321)	ソフトマテリアルズ物理 Physics of Soft Materials	【ソフトマター物理・化学物理】理論と実験の両面から、ゲル、液晶、破壊、粘弾性、表面張力、濡れ、粉粒体などをキーワードにソフトマター物理学の研究をしている。場の理論、経路積分、非平衡統計力学などの手法を基礎にした、溶液の多次元レーザー分光理論ももつとの研究の柱である。 e-mail: okumura.ko@ocha.ac.jp	
教授 Professor GSC 古川 はづき FURUKAWA Hazuki ☎(5317)	強相関物理 Strongly correlated electron system	【強相関電子系の研究】強相関電子系物理という視点から、(1)空間反転対称性の破れた超伝導体LaNiC ₂ の特異電子状態、(2)重い電子系超伝導体CeCoIn ₅ の磁性と超伝導の相互関係、(3)銅を含まない酸化物超伝導体Sr ₂ RuO ₄ 系の超伝導対称性、を研究する。 e-mail: furukawa.hazuki@ocha.ac.jp	
教授 Professor 番 雅司 BAN Masashi ☎(5326)	統計物理学 Statistical Physics	【量子情報・非平衡統計力学】量子情報のダイナミクスを非平衡統計力学的手法を用いて研究する。また、情報という概念を用いて量子力学の測定の問題や統計力学の不可逆性に関する問題を研究する。更に、物理と情報の両面から量子通信システムの様々なプロトコルの研究に取り組む。 e-mail: ban.masashi@ocha.ac.jp	
教授 Professor GSC 曹 基哲 CHO Gi-Chol ☎(5330)	ゲージ理論 Gauge Theory	【素粒子物理学理論】電弱相互作用、強い相互作用を記述するゲージ理論に基づき、高エネルギー領域における素粒子現象を研究する。超対称性の存在、質量の生成機構、高次元空間の可能性等を検証するための研究も行う。 e-mail: cho.gichol@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor 北島 佐知子 KITAJIMA Sachiko ☎(5941)	統計物理学 Statistical Physics	【量子情報・非平衡統計力学】量子情報の理論的研究を行う。また、非平衡ダイナミクスの視点から量子系の基礎的諸問題の解明に取り組む。 e-mail: kitajima.sachiko@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor GSC 河野 能知 KONO Takanori ☎(2057)	高エネルギー物理 High Energy Physics	【素粒子物理学実験】CERNで行われている高エネルギー陽子・陽子衝突実験ATLASに参加して、最高エネルギーでの素粒子現象の測定および新粒子の探索などの研究を行っている。また半導体飛跡検出器の開発も行っている。 e-mail: kono.takanori@ocha.ac.jp	
講師 Lecturer 左右田 稔 SODA Minoru ☎(5319)	応用物性科学 Applied Condensed Matter Science	【固体物性】磁性・強相関電子系における実験的研究を行う。磁気秩序と強誘電性が共存するマルチフェロイクスの起源解明や幾何学的フラストレーション磁性体・低次元磁性体等における新規磁性相の探索に取り組む。 e-mail: soda.minoru@ocha.ac.jp	

(注1) ◎は、2024年度末をもって退職予定の教員である。

なお、2023年度末(2024年3月31日付)で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

(注3) GSCは、Global Students Course担当可能教員である。

(注4) **印の教員は、主任指導教員として志望できない。

理学専攻 Advanced Sciences		化学・生物化学領域 Chemistry and Biochemistry	
教授 Professor	GSC 近藤 敏啓 KONDO Toshihiro ☎(5347)	ナノ界面化学 Nano-Interfacial Chemistry	【ナノ界面物理化学・分析電気化学】電気化学反応(電極/溶液界面の電子移動反応)を定量的に理解することおよび燃料電池やセンサなどのナノテクノロジーにつながる分子デバイスを構築することを目的として、原子・分子のレベルで構造制御した界面を構築し、電子移動反応を追跡するとともに、界面の構造変化をその場追跡する。 e-mail: kondo.toshihiro2@ocha.ac.jp
教授 Professor ※○	GSC 森 義仁 MORI Yoshihito ☎(5346)	複雑系分析化学 Analytical Chemistry of Complex Systems	【非平衡系化学】非線形領域の非平衡系の現象として特有のリズムまたはパターン形成の動的特徴の解析を実験または数値解析を用い進める。非平衡化学の応用として自然環境問題を取り上げる。 e-mail: mori.yoshihito@ocha.ac.jp
教授 Professor	GSC 相川 京子 AIKAWA Kyoko ☎(5345)	糖鎖生物学 Glycobiology	【糖鎖生物学、細胞生化学】糖鎖修飾によるタンパク質の細胞内局在や分泌性、生理活性の調節機構の解析と、レクチンの生理機能の探索を行う。 e-mail: aikawa.kyoko@ocha.ac.jp
教授 Professor	GSC 棚谷 綾 TANATANI Aya ☎(2716)	超分子構造化学 Advanced Supramolecular Chemistry	【構造有機化学・医薬化学】芳香族有機分子の立体特性や集合体形成を基盤として、新規機能性分子を創製する。また、生理活性物質の設計、合成へと応用し、疾患治療を目指したケミカルバイオロジー研究をおこなう。 e-mail: tanatani.aya@ocha.ac.jp
教授 Professor	GSC 矢島 知子 YAJIMA Tomoko ☎(5715)	機能性有機化学 Functional Organic Chemistry	【合成有機化学・有機フッ素化学】新規有機合成法を開発し、その手法を用いて合成した化合物の機能の探索を行う。特に有機フッ素化合物に着目し、医薬品、機能性有機材料等への応用を目指す。 e-mail: yajima.tomoko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor **	GSC 宮崎 充彦 MIYAZAKI Mitsuhiro ☎(5717)	分子分光化学特論 Molecular Spectrochemistry	【物理化学、分子分光学】分子間の凝集構造の解明、分子運動・化学反応のダイナミクスについて、分光測定を主たる手段とした実験的研究を行う。複数のレーザー光を利用した電子・振動分光、時間分解分光を気相分子クラスターに適用し、理論計算も援用しつつマイクロな視点から化学現象の解明を目指す。新たな分光法、光源の開発など新規研究手法の開発にも取り組む。 e-mail: miyazaki.mitsuhiro@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor **	GSC 近松 彰 CHIKAMATSU Akira ☎(5335)	固体物理化学 Physical Chemistry of Solids	【固体物性化学、固体反応化学、機能材料化学】原子レベルで制御する結晶成長法に様々な化学反応を組み合わせて、新しい機能物性を持った固体物質を創出する研究を行う。また、先端分析技術や理論計算を活用し、化学反応機構・物性発現機構を解明する研究にも取り組む。 e-mail: chikamatsu.akira@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor **	GSC 伊村 くらら IMURA Clara ☎(5291)	ナノ構造材料化学 Nanostructured Material Chemistry	【機能性ナノ材料、コロイド・界面化学】界面化学の視点から、触媒材料、光学材料へとつながる金属ナノ結晶の形態制御とその機構解明を行う。さらに、分子間相互作用にもとづく低分子化合物とのハイブリッド材料を構築し、分野横断的なアプローチからの新規な機能性開拓にも積極的に取り組む。 e-mail: imura.clara@ocha.ac.jp
講師 Lecturer **	GSC 三宅 亮介 MIYAKE Ryosuke ☎(2649)	構造分子科学 Structural Molecular Science	【錯体化学・超分子化学】金属錯体をデザインし、さらに構造変換に基づき物性変換することにより省エネルギー・高効率の機能創出を目指しています。分子レベルでの観測・理解に基づいて、精密な機能設計・制御を行います。特に構造特性やデザイン性に着目してペプチド金属錯体結晶を軸に研究を進めています。 e-mail: miyake.ryosuke@ocha.ac.jp
講師 Lecturer **	GSC 大金 賢司 OHGANE Kenji ☎(5731)	細胞機能化学 Cellular Biochemistry	【ケミカルバイオロジー・生命科学】ユニークな生物活性を有する低分子化合物の探索を通して、生命現象を分子レベルで理解し、制御する方法の開発を目指す。 e-mail: ohgane.kenji@ocha.ac.jp
講師 Lecturer **	GSC 桑原 拓也 KUWABARA Takuya ☎(5350)	物理有機化学 Physical Organic Chemistry	【典型元素化学・有機金属化学】典型元素の特性を活かした新奇芳香族・反芳香族化合物の合成と性質解明に取り組む。また、高価な遷移金属にしかみられない反応性や触媒反応を安価な典型元素化学種でも実現させることを目指す。 e-mail: kuwabara.takuya@ocha.ac.jp

(注1) ○は2025年度末をもって退職予定の教員である。
なお、2023年度末(2024年3月31日付)で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

(注3) GSCは、Global Students Course担当可能教員である。

(注4) **印の教員は、主任指導教員として志望できない。

理学専攻 Advanced Sciences		情報科学領域 Computer Science	
担当教員 Position Name	授業科目 Main Subject	研究テーマ又は研究分野	
教授 GSC YOSHIDA Hiroaki ☎(5386)	非可換解析論 Noncommutative Analysis	【非可換解析学】非可換解析学とは、量子系を記述する数学的な道具である。非可換解析学において、中心的な役割を果たす作用素環論、最近では特に、作用素環上で考えられる非可換確率論に関連した研究を行っている。 e-mail: yoshida@is.ocha.ac.jp	
教授 GSC OGUCHI Masato ☎(5379)	情報ネットワーク論 Information Network	【ネットワークコンピューティング】ネットワークにより接続された種々の計算機資源を互いに連携させ、高度なデータ処理を行うためのネットワークコンピューティング・ミドルウェアの研究を行う。 e-mail: oguchi@is.ocha.ac.jp	
教授 GSC ASAMOTO Noriko ○** ☎(5382)	コンピュータ援用論 Computer Aided Instruction	【情報数学】自然や社会の現象の解析において計算機を使ったアプローチを行う。数式処理系の現象理解への応用や、知識獲得の過程における計算機による支援を研究する。また教育現場とくに遠隔教育での計算機やネットワークによる支援を研究する。 e-mail: asamoto@is.ocha.ac.jp	
教授 GSC KOBAYASHI Ichiro ☎(5708)	知能情報処理論 Advanced Intelligent Information Processing	【知能情報処理、言語情報処理】近年、知的といわれるコンピュータシステムをつくるのに、言語など様々なモダリティがメディアとして活用され、その役割が大きくなってきている。本講義では知的な情報サービスを実現するために言語を中心とするメディアがどのように表現され、知的な情報処理として利用されるのかについて考察する。また、Web上などで実現されている意味を対象にした情報処理技術についても議論する。 e-mail: koba@is.ocha.ac.jp	
教授 GSC ITO Takayuki ☎(5700)	画像情報論 Visual Informatics	【情報可視化】情報を画面上でビジュアルに表現する諸技術について研究する。具体的な適用事例として、科学技術や社会現象の理解、機械学習やデータサイエンスの支援、画像・音楽・文章などの各種メディアの対話的分析などを目的とした情報可視化について研究する。 e-mail: itot@is.ocha.ac.jp	
教授 GSC ASAI Kenichi ☎(5388)	プログラム変換論 Program Transformation	【プログラミング言語】部分評価を始めとするプログラム変換、部分継続の理論と応用、型理論、プログラムの正当性の証明、自己反映言語など、おもに関数型言語に軸足を置いたプログラミング言語の理論と応用について研究を行っている。 e-mail: asai@is.ocha.ac.jp	
教授 GSC BEKKI Daisuke ☎(5378)	情報構造解析論 Advanced Applied Analysis	【数理言語学】自然言語の、主に統語論、意味論、語用論に対して、記号論理、ラムダ計算、圏などの数理論理的アプローチを用いた分析を行っている。 e-mail: bekki@is.ocha.ac.jp	
准教授 GSC KUDO Kazue ☎(5380)	統計数学論 Statistical Mathematics	【数値計算、統計力学】統計力学で扱われる問題は、幅広い。その中でも、特に量子ダイナミクスや非平衡系のパターン形成の問題を、主に数値計算を用いて研究している。 e-mail: kudo@is.ocha.ac.jp	
准教授 GSC IGARASHI Yuki ** ☎(5398)	ヒューマン・コンピュータ・インタラクション論 Human-Computer Interaction	【ヒューマンコンピュータインタラクション、グラフィックス】人間とコンピュータの対話手段であるHCI技術について、生活空間で誰もが利用可能な未来のコンピュータのあり方を研究する。また、グラフィックス表現を用いた初心者のための支援技術についても研究する。 e-mail: yuki@is.ocha.ac.jp	
准教授 GSC LE Hieu Hanh **	データ管理活用論 Data Management and Application	【データ管理活用論】多種大量なデータを蓄積し有効に活用することが求められる中、信頼性の高いデータ格納方法や高速なデータ処理および高度なデータ分析等を実現するために、データ管理活用に関する研究を行う。 e-mail: le@is.ocha.ac.jp	
講師 GSC Nathanael AUBERT-KATO ** ☎(5773)	分子ロボティクス論 Molecular Robotics	計算能力を持つ化学反応ネットワークのシミュレーションと分析を行なっている。また、そういうシステムの設計のため、進化的戦略アルゴリズムを研究している。 e-mail: naubertkato@ocha.ac.jp	
講師 GSC NAGAO Atsuki ** ☎(5384)	計算複雑性理論 Theory of Computational Complexity	【計算量理論、アルゴリズム論】我々の生活に存在する実問題の多くは離散的なモデルで表現することができるが、それらの最適解を現実的な計算リソースで求める事が難しい場合がほとんどである。解決という行為が、扱う問題や使用可能な計算資源によってどのような違いがあるのかを解析し、また、特定の問題に対してより効率的なアルゴリズムの開発、その理論的保証の解析を行う。 e-mail: a-nagao@is.ocha.ac.jp	
講師 GSC KOHYAMA Tsubasa ** ☎(5384)	気象数学論 Mathematics in Meteorology	【気象学・物理気候学・大気海洋データ解析】地球の気象・気候の現在の姿とふるまいはどのように決定されているのかについて、特に応用数学・情報科学的視座から明らかにすることを旨とする。 e-mail: tsubasa@is.ocha.ac.jp	
〔教授〕 ☎	非可換解析論 Noncommutative Analysis	理学専攻 物理科学領域 統計物理学と同じ	
〔准教授〕	非可換解析論 Noncommutative Analysis	理学専攻 物理科学領域 統計物理学と同じ	

(注1) ◎は、2024年度末をもって退職予定であり、○は2025年度末をもって退職予定の教員である。

なお、2023年度末（2024年3月31日付）で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

(注3) GSCは、Global Students Course担当可能教員である。

(注4) **印の教員は、主任指導教員として志望できない。

(注5) []は、他領域の兼任教員である。

【参考】生活工学共同専攻を志望する者は、「生活工学共同専攻学生募集要項」（別冊子）で出願すること。

2023年6月1日現在

生活工学共同専攻			☎ 03-5978- (下記☎参照)
担当教員 Position Name	授業科目 Main Subject	研究テーマ又は研究分野	
教授 Professor GSC 太田 裕治 OHTA Yuji ☎(5739)	生活支援工学 Life Support Engineering	【人間工学】我々の生活と直接関連する生活支援機器、高齢者支援機器、人工臓器等の医用福祉機器の開発に関する工学的基礎研究を行う。生体システムを深く解析すると同時にシンセシス（設計）と技術評価に重点をおきつつ研究を進めている。 e-mail: ohta.yuji@ocha.ac.jp	
教授 Professor GSC 大瀧 雅寛 OTAKI Masahiro ☎(5748)	環境衛生工学特論 Environmental Sanitation Engineering, Advanced Course	【環境工学】安全で快適な生活環境を確保するために、環境因子（主に水環境）が人間に与える様々な影響を評価する手法、及びそれらを管理制御する技術について工学的に検討、研究を行う。 e-mail: otaki.masahiro@ocha.ac.jp	
教授 Professor GSC 元岡 展久 MOTOOKA Nobuhisa ☎(5585)	建築設計学 Architectural Design	【建築意匠論】建築は何を表現するのか？様々な建築の実例を通じて、建築形態を分析し、設計の意図ならびに方法を研究する。 e-mail: motooka.nobuhisa@ocha.ac.jp	
教授 Professor GSC 長澤 夏子 NAGASAWA Natsuko ☎(5743)	建築環境論 Architectural Planning Theory	【建築人間工学】都市や建物の利用者および環境にやさしい建築をつくるために、人間の生活、行動や身体とそれを取りまく環境について工学的なアプローチで、建築空間の設計の根拠を提示する研究をおこなう。 e-mail: nagasawa.natsuko@ocha.ac.jp	
教授 Professor GSC 近藤 恵 KONDO Megumi ☎(2551)	生活環境史特論 Living Environment History, Advanced Course	【自然人類学】ヒトの生物としての特徴を理解するため、現生の生体人類だけでなく、化石人類も研究対象とする。ヒトの身体に対する理解をより深め、それを踏まえて生活における身体に関わる諸問題について研究する。 e-mail: kondo.megumi@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor ** GSC 河合 英徳 KAWAI Hidenori ☎(5917)	居住空間環境学特論 Residential Space Environmental Science	【建築環境工学】建築の内外に形成される微気象（主に熱環境、風環境）を数値解析や観測により明らかにしながら、頻発する極端気象や気候変動に適応した生活空間の環境設計手法やその評価技術に関する研究を行う。 e-mail: kawai.hidenori@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor GSC トリベッテ ジュリアン TRIPETTE Julien	身体行動・健康論 Physical Behavior and Health Theory	【健康・運動科学】非感染性疾患を防ぎ健康寿命を延ばすことで生活の質を向上させることを目的とし、ウェアラブルセンサーなどを使用して、行動の認識または身体活動量の評価方法等の新しい手法について研究を行う。 e-mail: tripette.julien@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor ** GSC 藤山 真美子 FUJIYAMA Mamiko ☎(5477)	デザイン工学論 Design Engineering Theory	【都市・建築デザイン学】都市・建築空間を構成する自然、技術、生活等の重層的構造について検証を行うとともに、次世代社会における都市・建築デザインの可能性について工学的理論と芸術的感性の総合的視点から研究を行う。 e-mail: fujiyama.mamiko@ocha.ac.jp	
講師 Lecturer ** GSC 土田 修平 TSUCHIDA Shuhei	エンターテインメントコンピュー ティング特論 Special lecture of entertainment computing	【情報工学、ヒューマンコンピュータインタラクション、計算機工学】 e-mail: tsuchida.shuhei@ocha.ac.jp	